

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期門川町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

宮崎県東臼杵郡門川町

3 地域再生計画の区域

宮崎県東臼杵郡門川町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、2000年の19,287人をピークに減少しており、住民基本台帳によると2025年には16,993人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2040年には総人口が13,387人となる見込みである。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は1980年の4,656人をピークに減少し、2020年には2,367人となる一方、老年人口（65歳以上）は1980年の2,012人から2020年には5,953人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も1995年の12,216人をピークに減少傾向にあり、2020年には9,059人となっている。

自然動態をみると、出生数は1994年の213人をピークに減少し、2023年には108人となっている。その一方で、死亡数は2023年には277人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲169人（自然減）となっている。

社会動態をみると、1994年には転入数（842人）が転出者（760人）を上回る社会増（82人）であった。その後、転入者・転出者ともに減少していき、2023年には転入者（555人）が転出者（540人）を上回る社会増（15人）となっている。2023年には社会増となったが、2010年以降は転出者が転入者を上回る状況が続いていた。このように人口の減少は出生数の減少（自然減）や、転出者の増加（社会減）等が原因と考えられる。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う

地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、町民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り、自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り、活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 門川町の次代を担う人材を育成する
- ・基本目標 2 門川町でしごとをつくり、安心して働ける仕組みをつくる
- ・基本目標 3 門川町への新しいひとの流れをつくる
- ・基本目標 4 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ・基本目標 5 時代に合った地域をつくり、安心して暮らせるまちをつくる

数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2027年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	今住んでいる地域の行事に参加している割合【児童生徒(小6・中3)の割合】	71.7%【小6/R1】 63.9%【中3/R1】	75%【小6/R9】 70%【中3/R9】	基本目標 1
	町民アンケートで門川町に愛着を持っているかの問いに「愛着がある」「やや愛着がある」と答えた割合	74.6%【R1】	80%【R9】	
イ	個別創業塾受講者数(認定創業支援等事業計画に)	6人(R5)	20人(R6~9)	基本目標 2

	基づく)			
	ふるさと納税登録返礼品数	430品 (R5)	450品 (R9)	
ウ	社会増減数	▲34人 (R3 ～5平均)	0人 (R9)	基本目標 3
	観光入込客数 (年間)	160,000人 (R5)	200,000人 (R9)	
エ	合計特殊出生率	1.84 (R4)	1.84 (R9)	基本目標 4
	将来の夢や目標を持っていると答えた割合【児童生徒 (小6・中3) の割合】	81.3%【小6/R1】 74.1%【中3/R1】	85%【小6/R9】 80%【中3/R9】	
オ	町民アンケートで門川町は住みよいまちだと思ふかの問いに「住みよい」「また住みよい」と答えた割合	75.6% (R1)	80% (R9)	基本目標 5
	介護・支援を必要としない高齢者の割合 (75歳以上85歳未満)	87% (R5)	90% (R9)	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例 (内閣府) : 【A2007】

① 事業の名称

門川町まち・ひと・しごと創生推進計画事業

- ア 門川町の次代を担う人材育成事業
- イ 門川町でしごとをつくり、安心して働ける仕組みづくり事業
- ウ 門川町への新しいひとの流れづくり事業
- エ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業
- オ 時代に合った地域をつくり、安心して暮らせるまちづくり事業

② 事業の内容

ア 門川町の次代を担う人材育成事業

本町のこれからのまちづくりに必要となる地域リーダーの発掘・育成やふるさと教育・キャリア教育等を通じて、次代を担う人材の育成に向けて取り組む事業。

【具体的な事業】

- ・地域リーダー創出プロジェクト
- ・ふるさと愛着プロジェクト 等

イ 門川町でしごとをつくり、安心して働ける仕組みづくり事業

若い世代が魅力を感じるまちになるために、起業支援や第一次産業の環境整備に取り組み、誰もが活躍できるしごとづくりに取り組む事業。

【具体的な事業】

- ・魅力あるしごと創出プロジェクト
- ・門川ブランドプロジェクト 等

ウ 門川町への新しいひとの流れづくり事業

町内外にまちの魅力を発信することで若い世代や移住者の定住促進を図り、「心の杜」や「乙島」等の地域観光資源や自然環境を活かして新たな人の交流や流入を図り、にぎわいのあるまちづくりに取り組む事業。

【具体的な事業】

- ・移住定住推進プロジェクト
- ・関係人口創出プロジェクト 等

エ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

若い世代が希望する結婚・出産・子育ての環境整備と、働くことと子育てを両立できる社会の実現を目指し、若者や女性が住みたくなる・住み続けたいと思えるまちづくりに取り組む事業。

【具体的な事業】

- ・結婚・出産・子育てプロジェクト
- ・門川っ子育成プロジェクト 等

オ 時代に合った地域をつくり、安心して暮らせるまちづくり事業

まちの鳥「カンムリウミスズメ」をはじめ、豊かな自然環境の保全と、生活環境の整備を図り、住み慣れた地域にだれもが安全で安心して健康でいきいきと暮らせるまちづくりに取り組む事業。

【具体的な事業】

- ・安心・安全プロジェクト
- ・健康・いきいきプロジェクト 等

※なお、詳細は第2期門川町総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

1,410,000千円（2025年度～2027年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度11月に、外部有識者を交えた各分野の代表者で構成する「門川町まち・ひと・しごと創生推進会議」において効果検証を行い、議会への報告を経て、検証内容を本町ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

2025年4月1日から2028年3月31日まで

6 計画期間

2025年4月1日から2028年3月31日まで